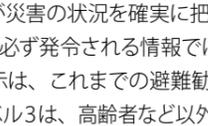


災害に備える ～新しい防災マップで対策を～

警戒レベル	新たな避難情報など
5 災害発生 または切迫 	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1
4 災害の恐れ高い 	ひなんしじ 避難指示※2
3 災害の恐れあり 	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3
2 気象状況悪化 	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1 気象状況悪化の恐れ 	早期注意情報 (気象庁)

避難勧告が廃止 避難指示で必ず避難

◆避難情報が変わりました
今年5月20日から市民の皆さんに避難を呼びかける災害時の避難情報が変わりました。主な変更点は、次の2つです。

①避難勧告が廃止され「避難指示」に統合

これまで、市が避難を呼びかける際には、避難勧告を発令していましたが、今後は、避難勧告は発令せず避難指示を発令します。避難指示が発令された場合は、必ず

避難行動が必要な状況であるため、対象となる人は、速やかに安全を確保してください。

②避難準備・高齢者等避難開始が「高齢者等避難」に名称変更

高齢者や障害者、乳幼児のいる世帯など避難行動に時間がかかる人は、速やかに安全を確保してください。それ以外の人は、いつでも避難行動がとれるよう準備してください。

新しくなった避難情報では、市が避難を呼びかける最後の情報が避難指示となります。避難指示が発令された地域の皆さんは、必要な避難行動を行い、必ず安全を確保してください。

◆災害時の情報収集手段を確保

災害時に、適切な避難行動をとり安全を確保するためには、自宅の災害リスクを把握し、避難行動やそのタイミングを考慮しておく必要があります。また、情報収集の手段を確保し、重要な情報が届く体制を整えておくことが重要です。

本市では、市内全世帯への戸別受信機(下写真)の設置を進めています。まだ設置されていない人で設置を希望される場合は、防災危機管理課まで問い合わせください。



近年、全国各地で大雨や台風による水害や土砂災害が発生し、多くの命が失われています。その中には、防災マップで水害や土砂災害の危険性が示されていたにもかかわらず、避難が遅れてしまうケースがあります。今回は、深刻化する災害に対応するため、新しくなった防災マップや新たな避難情報について紹介します。
 防災危機管理課 IP050-5801-5617 FAX0748-24-0752

ここが変わった 防災マップ



①最新かつ最大規模の災害想定に対応

これまで、100年に一度の大雨を想定していましたが、新しいハザードマップでは、1000年以上に一度(想定最大規模)の大雨を想定したものに変わりました。より細かな浸水状況も確認できます。また、地震ハザードマップも最新の想定に更新しました。

②家庭での減災対策の充実

家庭での備蓄や非常用持出袋として備えておくべきもの、あると便利なものを掲載しています。高齢世帯や乳幼児のいる世帯など、家庭の状況に合わせた備蓄品も例示していますので、家庭の備蓄状況などをチェックしてみてください。

③避難や災害時の行動のフロー図掲載

ハザードマップで自宅周辺の浸水の深さや土砂災害の危険性など

の災害リスクを確認した後は、安全を確保するための行動(避難行動)を考える必要があります。自宅の階数と災害リスクから推奨される避難行動を確認できるフロー図を活用してください。



防災マップは、自治会を通じて配布するほか、市役所・各支所やコミュニティセンターの窓口にありますので、ぜひ活用してください。

④「我が家の防災計画」のひな型を掲載

防災マップを順に読み進めると、家庭で災害に備えるための「我が家の防災計画」を作成できるようになります。巻末にひな型があります。ぜひ作成してください。完成したら、家族みんなの目に付くところに掲示するようにして、いつでも確認できるようにしましょう。

防災情報を素早くキャッチ

防災情報告知放送システム「戸別受信機」

戸別受信機では、避難情報や気象警報、緊急地震速報などの防災情報や市からのお知らせをお届けします。

また、自治会からのお知らせなどにも利用できます。

東近江市 LINE公式アカウントで情報発信

ぜひ、友だち登録をお願いします!

友だち登録と簡単な受信設定をすることで、防災情報をはじめ、必要とする情報をタイムリーに受け取ることができます。

アカウント名:東近江市 ID:@higashiomi-city



■記号の説明・・・☎=問合せ IP=IP電話 FAX=ファクス